

平成28年5月25日

厚生労働省障害福祉課
全国社会福祉協議会
全国身体障害者施設協議会
熊本県身体障害児者施設協議会
熊本県障がい者支援課
熊本市障害保健福祉課

御中

熊本県身体障害児者施設協議会
会長 三浦 貴子
(愛隣館)

熊本地震における支援等の状況報告について（19号）

5月23日～5月25日の報告をします。

支援協力者一福岡県陽だまりの里：大津さん、慈久園：堤さん・古賀さん、菊池園：酒井さん・井上さん・有馬さん・西本さん、長崎県にじいろ：渡辺さん、長崎リハビリテーション：石原さん、大分県ひばり～ヒルズ：坂本さん、ハーモニーの森：堀田さん、宮崎県しおみの里：梅野さん・黒田さん、翼：森本さん、乙房苑：里岡さん、鹿児島県星空の里：松下さん、今村さん、鬼東さん、山鹿市ボランティア連絡協議会：本田さん・福島さん、よこはまチャイルドライン：徳丸さん。

物資等の受け取り

- ・横浜市 美しの森幼稚園 大久保静子様よりおかし
- ・美しの森幼稚園様よりメッセージ付お菓子・スープ等
- ・北海道 岡部祐悦様、東京都 古田清美様よりお菓子
- ・丸亀醤油佐藤社長よりフリーズドライみそ汁

ご協力まことにありがとうございました。

【活動と現状について】

(1) 支援報告

- ① くまむた荘への人的支援は、長崎県、大分県、宮崎県、鹿児島各施設から派遣継続中です。
- ② 千歳療護園とひだまりの里から全国からの支援物資の搬送。これまで千歳療護園で保管頂いていた物資をワゴン車2台で搬入頂きました。

(2) 会議・情報交換

- ① 熊本県障害者支援施設協議会（旧法療護中心の15施設）で定例の連絡会を行いました。6月、8月の定例会議を熊本県身体障害児者施設協議会24施設で地震対策を中心に行うことが承認されました。
- ② 熊本県身体障害児者施設協議会正副会長会議を、たまきな荘金和施設長、星光園金澤施設長と開催。福祉工場、ゆめの里、朋暁苑、くすのき園、くまむた荘へのお見舞い報告と、人的支援の在り方等について話し合いました。

- ③ 熊本障害フォーラム（KDF）が、日本障害フォーラム（JDF）の派遣とバックアップで開設している「被災地障害者支援センターくまもと」を訪問。丁度ご来熊の日本身体障害者福祉団体連合会の阿部会長と出会い、一緒に現状を伺いました。
- ④ 熊本県庁障がい者支援課にて、ニーズ調査の情報と支援要請がなかなか事業所に届かないので、必要な支援を急ぐためにも三障害のサービス関係者に声をかけて欲しいと申し入れました。

（3）被災地域支援

① 西原村福祉避難所の方々とグループホーム利用者2団体の温泉リフレッシュ支援を行いました。西原村は管内で福祉避難所指定をしていた福祉施設が全て損壊し、その利用者の方々を町外施設に移さなければならない状況でした。そこで、村に残る要介護の方々は家族と共にひとつの避難所に集まりました。県外行政からの派遣やカリタスジャパン、日本介護福祉士会らの支援を受け運営してこられましたが、昨日から看護師、介護士の配置も決まり福祉避難所としての体制が整ったとのこと。お身体の不自由なご高齢の方々が旅館に着き、わくわくした表情で大浴場に向かわれる時、昼食膳に目を輝かせられる時をしみじみと嬉しく見ております。

熊本地震では、県庁所在地をはじめ、市、町、村の行政機関が多数被災しました。身近に思う県社協の職員方の家も全壊、半壊で、ビニールハウスに泊まりながら休まずに仕事を続けている方もいます。家屋の被害が10万軒を超え、その方々に「少しは落ち着いた」という状況は訪れていません。諦めて、耐えて、頑張っておられます。私事ですが、被災したマンション（黄紙）に40日ぶりに泊まりましたところ、朝首と肩が固まっていて、自分の緊張の強さを知りました。怖くて家の中に眠れない方々、子ども達の気持ちを改めて思うところです。

（連絡先） 障害者支援施設愛隣館
TEL：0968-43-2771
FAX：0968-43-2793